

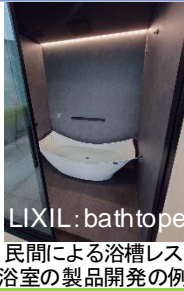
日常災害防止を目的とする押し入れ改修型浴槽レス浴室の被験者実験と利用者に応じた平面寸法の提案



国立研究開発法人 建築研究所 住宅・都市研究グループ 研究員 津留崎 聖斗

背景・目的

- ・ 高齢者の入浴中の溺水死亡者数は年間約6,600人。(建物火災は約650人)
- ・ 溺水事故の防止が期待できるものとして浴槽の無い浴室(以下、「浴槽レス浴室」)がある。
- ・ 移動の負担など高齢者配慮の観点から、国の基準では、浴室を寝室と同一階にすることが定められているが、その位置関係については示されていない。
- ・ 本研究では、寝室に隣接する押し入れ等の収納スペースを浴槽レス浴室に改修する場合について、特に必要平面寸法の観点から提案を行う。



実験の概要

被験者(10名)に対し、介助の有無や使用器具の違いによる4種類の実験を実施した。被験者には、実験装置内で入浴動作を模擬してもらい、評価指標に基づいて、各平面寸法の使いやすさを4段階で評価してもらった。

評価指標

出来ない
苦勞して出来る
普通に出来る
余裕で出来る

【実験1】「歩行介助なし」が立位で入浴

洗面時のかみ込み動作
洗面時・洗体時に腕を広げる

平面寸法を確認・評価

洗面時のかみ込み動作
洗髪・洗体時の腕を広げる動作

【実験3】「歩行介助あり」が入浴用いすを使用して入浴

洗面等の介助
入浴用いすへの移動及び立ち座りの介助

平面寸法を確認・評価

洗面等の介助動作
入浴用いすへの移動及び立ち座りの介助動作

【実験2】「歩行介助なし」が座位で入浴

入浴用いすでの洗体等
入浴用いす側方の通り抜け

平面寸法を確認・評価

入浴用いすでの洗体等の動作
入浴用いす側方の通り抜け動作

【実験4】「歩行介助あり」が入浴用車いすを使用して入浴

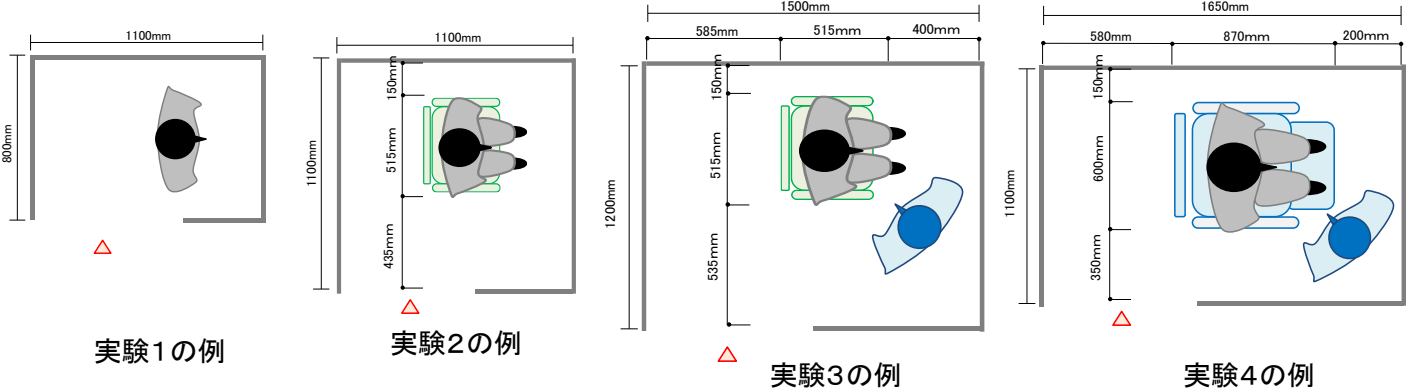
入浴用車いす後方からの介助
入浴用車いす側方から回り込み、前方からの介助

平面寸法を確認・評価

入浴用車いす後方からの介助動作
入浴用車いす側方から回り込み、前方からの介助動作

実験結果の例

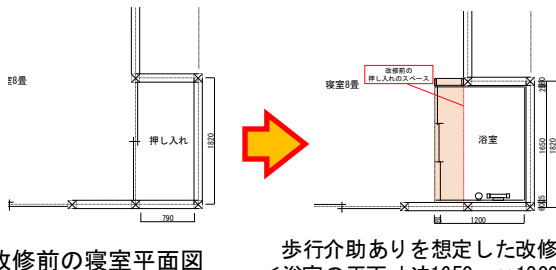
実験1~4それぞれにおいて、被験者全員が「普通にできる」または「余裕でできる」と評価した平面寸法の例を示す。



提案

特定寝室を想定した寝室の押し入れの改修例

※在来木造モジュール(910mm)の居室空間8畳と押し入れ空間1畳



成果の活用・普及

- ・ 民間メーカーの製品開発の基礎データとしての活用
- ・ 浴槽レス浴室を検討している設計者等への設計例の提示
- ・ 実験結果等のデータを公表予定